

科学センターだより

平成28年度 第3号
平成28年7月6日発行
調布市教育委員会指導室
調布市科学センター

講座①「多摩川の初夏の植物を観察しよう」



6月4日（土）の講座は全員参加できる講座でした。始めに講師の横山先生が、体育館で多摩川の河原に自生している植物の観察方法を、『調布野の花100（夏編）』の使い方と合わせて丁寧に説明しました。昨年度も同じ講座に参加した6年生は、お話の途中から、別行動で一足早く多摩川の河原に出向き、観察を始めました。

開花の時期、花の色、葉の形、葉のつきかた、命名の由来など、講師の説明に、センター員は熱心に耳を傾け、集中して植物を観察していました。実際に観察することで、植物への興味関心が高まった子が多くみられました。



この講座で身につけた植物観察の技能や経験を移動教室などで生かして、率先して植物に目を向けてほしいと考えます。



（参加者78名）

講座②「石と火山の科学」

6月18日（土）の講座では、多摩川の河原にあるふつうの石を自分の目（肉眼）やルーペで観察し、クギや、うすい塩酸



を使ったり水にぬらしたりして調べました。この結果をもとに、この石が何という岩石の仲間か、どんな特ちょうを持っているかなどを研究しました。どこかで石を見た時に、この講座の学習が役に立ち、皆さんの世界が広がることを願っています。





次に小麦粉を水に溶かして赤く染めたものを溶岩に見たて、火山のモデル噴火実験をしました。溶岩の粘り気の強さによって、できあがる火山の形が違うことを実験によって確かめます。山を見た時に、その山の形から山ができた時の噴火の様子を推理する習慣を身に付けてほしいと思います。



(出席58名 欠席8名)

講座③「電気工作1」



7月2日(土)は、NPO法人 コアネットの三沢光弘先生をはじめとする9名チームの方々が講師としていらっしゃいました。

発明家エジソンの作った白熱電球が国立科学博物館に、展示してありますが、この講座では身近にあるジャムビンやシャープペンシルの芯などを材料に、エジソン電球に挑戦しました。電源部分は、牛乳パ

ックとゼムクリップを組み合わせてできています。新品のアルカリ単3乾電池6本を直列で利用しました。子どもたちに細工しやすいように設計されていて、全員、電球を点灯させることができました。センター員は、電気学習で得た知識や経験を基にしながら、電気工作に取り組みました。自分で製作した電球が明るく輝いた時に、エジソンが電球を発明した瞬間の喜びを実感することができたことでしょう。(出席46名 欠席2名)

